

法と正義の資料館・大学史資料館

2024年4月、中央大学初となる資料館が2館同時にオープンしました。多摩キャンパス「炎の塔」2階の中央大学の歴史資料館では、2つの常設展示室、2つの企画展示室、合計4つの展示室で展示をご覧くださいませ。



法と正義の資料館

The Museum of Law and Justice

基本的人権の擁護と正義の実現のために歴史上重要な役割を果たした法曹その他の偉人の業績を広く顕彰することにより、教育にも資することを目的とした資料館です。



法と正義、基本的人権の理念について歴史的・理論的に検討する展示

大学史資料館

The Museum of Chuo University History

英吉利法律学校に始まる中央大学の歴史や本学関係者の事蹟を通じて本学のアイデンティティを明らかにするための資料館です。



駿河台校舎教室再現 大時計

入場料：無料
開館時間10:00-17:00
(入館は16:30まで)
休館日：日曜・祝日
※ご来館の際は、資料館Webサイトから最新の開館スケジュールをご確認ください



詳細はこちら



新2学部に関する
プレスリリースは
こちら

※掲載内容は設置構想中の予定であり、変更となる可能性があります。

※掲載内容は設置構想中の予定であり、変更となる可能性があります。

新2学部の開設により27年度以降の中央大学は、12学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校、9研究所を擁する総合大学・総合学園へと進化。地域や社会との交流を積極的に推進しながら、「さらに開かれた中央大学」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

農薬×テクノロジーによる新たな農学教育を展開※
同じく27年度に新設される情報農学部(仮称)は、「食」「農」「環境」をキーワードに「農業×テクノロジー」による新たな農学教育を展開。経済発展と環境保全の両立に向けて、最先端の技術で新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成を目指します。

後楽園キャンパス 新1号館



茗荷谷キャンパス



多摩キャンパス



市ヶ谷町キャンパス

27年に新2学部を開設 スポーツヘデータを活用

27年4月には「スポーツ情報学部(仮称)」と「情報農学部(仮称)」の新設も予定されており、学問領域のさらなる拡充と文理融合型教育の展開が進みます。

スポーツ情報学部は、スポーツでAI・データサイエンスを学び課題解決力や複合的思考力を身につける文理横断・融合教育が特徴です。「アスリート」「スポーツ競技」「スポーツビジネス」「スポーツの指導」といったスポーツ関連領域のデータを分析し、その背景にある本質的な課題を見抜いた上で、課題解決のための的確なプランを策定・実現できる人材の育成を目指します。

学部2年生までにデータサイエンスティストとしての汎用的能力を身に付けた後、3年次以降はそれらを基盤に専門領域の学修へと移行。アプリ開発やAR・VRなどを活用したスポーツDXの実現を目指す「データサイエンスコース」、スポーツビ

140年を迎え学部の新設・再編で学問領域を拡充 「さらに開かれた中央大学」として 持続可能な社会の実現に貢献

理工学部を新3学部にも再編 技術革新を支える人材を養成

気候変動、エネルギー、少子高齢化といった複雑な社会課題が顕在化するなかで、IoT、ビッグデータ、AIを活用した技術革新が進み、新たな価値を創造して技術革新を起こすことのできる、より高度な能力を持つ人材が求められるようになっていきます。

こうした急速な変化に対応すべく、中央大学の理工学部は2026年4月に発展的な再編を行います。新たに「基幹理工学部」「社会理工学部」「先進理工学部」の3学部体制で社会課題へ積極的に向き合い、自身で解決策を見出せる人材の育成を目指します。

3学部に共通する学びのキーワードとなるのが、「グローバルマインド」「言語スキル」「ダイバーシティ&インクルージョン」「アカデミックスキル」です。これらに加え、基幹理工学部は「STEM教育」「基礎分野の複眼的理解」、社会理工学部は「文理融合の複眼的思考」「理

工系の理論と技法」、先進理工学部は「先端科学理論・技術」「実践的応用力・スキル」をそれぞれ重視。各学部が養成する人材像を明確に示し、それぞれの分野の専門性を発揮することで、多様な複雑な諸問題に対する解決策を提案・実行するための力を育みます。

25年4月には、3学部の拠点となる後楽園キャンパスに新1号館が完成。最先端の多種多様な設備が備わり、さまざまな実験や研究へ柔軟に対応できるほか、分野を越えた交流拠点としての活用も想定されています。

経済学部は2学科体制へ 体系的な学修機会を強化

27年4月には経済学部が、現在の4学科(経済・経済情報システム、国際経済・公共・環境経済)から「経済学科(仮称)」「社会経済学科(仮称)」の2学科へと再編を予定。複雑化・多様化が進む現代社会の課題に対応するため、経済学および関連分野の体系的かつ重点的な学修機会を強化することで教育体制の「深化」と「進化」を図ります。

新たな経済学科では、ミクロ経済学・マクロ経済学をベースに理論を深く学修。「企業」「産業」「国際」「環境」といった広範囲の問題に対し、理論とデータを駆使しながら本質を見抜き、政策提言を行うための「分



後楽園キャンパス 新1号館



経済学部
学科再編
特設サイト